

平成 27 年 11 月 17 日

## 子どもの発達を科学的に知る新たな試み

### <概要>

浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、高貝准教授と土屋准教授のグループは、1,258 名の赤ちゃんの発達を詳細に追跡する「浜松母と子の出生コホート研究」の内容と意義を世界に向けて紹介・発信しました。子どもの発達、とくに言語や社会性などの人間らしさが育っていく科学的なメカニズムの解明に大きな期待が寄せられています。

これらの成果は、国際疫学会の科学雑誌「International Journal of Epidemiology」（国際疫学会雑誌）に、[日本時間 10 月 31 日（土）に公表されました。](#)

### <研究の背景>

世界にはさまざまな「出生コホート研究」があります。出生コホート研究とは、赤ちゃんが成長していく過程を長期にわたって追いかけることによって、子どもの発達を促す要因、阻害する要因などを見出したりすることが可能な研究です。また、対象者の中に、いつ、だれに、どのような病気が発生するかをつぶさに観察することもできます。出生コホート研究の先進国である英国や北欧諸国には多数の出生コホート研究があり、その研究成果は保健・福祉・教育などの行政分野に広く使われています。

我が国では出生コホート研究が盛んではありません。浜松医科大学子どものこころの発達研究センターは、2007 年、浜松市で生まれる子どもたちを対象とした出生コホート研究（浜松母と子の出生コホート研究：HBC Study）を立ち上げました。

### <研究の成果>

今回、浜松医科大学子どものこころの発達研究センターの高貝准教授をはじめとする研究グループ（HBC Study Team）は、浜松母と子の出生コホート研究（HBC Study）が 1,258 名のお子さんと 1,138 名のお母さんの参加を得て進められていることを報告しました。この研究の特徴は、保護者と専門家が手を携え、子どもの成長を科学的に観察しながら子育て支援を試みるという点にあります。7 年以上にわたる運営のなかで、転居などで参加を取りやめた方は 10%以下と少なく、多くの参加者の方々に受け入れられた研究であることを報告しました。

浜松母と子の出生コホート研究（HBC Study）のここまでの成果は、同研究グループが目指す科学的根拠のある子ども政策の立案に向けた我が国初の取り組みの質とデータ集積状況が、国際的にも期待される水準にあることを示しています。

<http://ije.oxfordjournals.org/content/early/recent>

調査項目：母親と父親 — 妊娠中の生活習慣、病歴、子どもが生まれて以降の就労状況など。

子ども本人 — 生後 1, 4, 6, 10, 14, 18, 24 ヶ月、2 歳 8 ヶ月、3 歳 4 ヶ月、4 歳 6 ヶ月、6 歳における身長や体重、運動機能や言語機能、社会適応機能など。また、出生時の臍帯血の採取、及び 2 歳以降の DNA の採取も行っています。

---

データ収集状況： 2007 年 11 月に当院で募集を開始、2011 年 3 月末、新規の募集を終了。  
すべての参加者が 3 歳 4 か月までのすべての発達検査を終えました。現在は 4  
歳 6 ヶ月以降の発達を追跡しデータを収集中です。  
解析したデータからこれまでに約 20 本の英文・和文論文を生み出しました。

### <今後の展開>

今回の研究により、浜松医科大学子どものこころの発達研究センターと行政の連携が一層深まっ  
ていくことが想定されます。

### <発表雑誌>

「International Journal of Epidemiology」(国際疫学会雑誌)

### <論文タイトル>

Cohort Profile: Hamamatsu Birth Cohort for Mothers and Children (HBC Study)  
(和訳 コホートプロフィール：浜松母と子の出生コホート (HBC 研究))

### <著者>

Shu Takagai, Kenji J. Tsuchiya, Hiroaki Itoh, Naohiro Kanayama, Norio Mori, Nori  
Takei  
(高貝就、土屋賢治、伊東宏晃、金山尚裕、森則夫、武井教使：いずれも浜松医科大学)

### <研究グループ>

本研究は、浜松医科大学の子どものこころの発達研究センター・精神医学講座・産婦人科学講  
座・小児科学講座との共同研究で、下記の文部科学省及び日本学術振興会科学研究費補助金の共  
同研究により実施した成果です。

脳科学研究推進プログラム

基盤研究 (A)：研究代表者 武井教使

基盤研究 (B)：研究代表者 森則夫

基盤研究 (B)：研究代表者 武井教使

### <本件に関するお問い合わせ先>

浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

(〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1)

センター長 森則夫、教授 武井教使

(連絡担当 特任准教授 土屋賢治)

Tel: 053-435-2331 / Fax: 053-435-2291

E-mail: [kodomo@hama-med.ac.jp](mailto:kodomo@hama-med.ac.jp), [tsuchiya@hama-med.ac.jp](mailto:tsuchiya@hama-med.ac.jp)